kintoneアドプラのLINE WORKS通知

初回セットアップガイド

ダウンロード → kintoneへ追加 → LINE WORKSを接続 → 通知を確認

作業前の準備

kintoneで必要なもの

- kintoneシステム管理者のアカウント
- 通知を設定するアプリの管理権限

LINE WORKSで必要なもの

- Developer Consoleを操作できるアカウント
- LINE WORKS管理画面を操作できるアカウント
- 通知先にする、社内メンバーだけのグループ

条件を付ける場合だけ用意するもの

- 条件に使うkintoneのフィールド
- テストで入力する値

注意

Developer Console、LINE WORKS管理者画面、通知先グループは、すべて同じLINE WORKS環境を使用してください。

Private Keyや秘密情報は、チャットなどに送らないでください。

LINEユーザーや外部LINE WORKSユーザーを含むトークルームではBotを利用できません。通知先には社内メンバーだけのグループを使用してください。

必要な権限と通知先グループを確認できたら、次へ進みます。

STEP 1

プラグインをダウンロードする

ブラウザー

1. アドプラのプラグイン一覧を開きます。
   https://seedc.co.jp/kintone/ad-plugin/
2. 「kintoneアドプラのLINE WORKS通知」の「詳細・ダウンロード」を押します。
3. 製品ページの「プラグイン」欄にある「ダウンロード」を押します。
4. zipファイルをパソコンへ保存します。

重要

ダウンロードしたzipファイルは解凍しません。

✓ zipファイルを保存できたら、次へ進みます。

STEP 2

kintoneへプラグインを読み込む

必要な権限　kintoneシステム管理者

作業場所　kintoneシステム管理

1. ブラウザーで、通知を設定するkintone環境へログインします。
2. 画面上部の歯車アイコンを押します。
3. 「kintoneシステム管理」を押します。
4. 「その他」の「プラグイン」を押します。
5. 画面左上の「読み込む」を押します。

✔ kintoneシステム管理のプラグイン一覧に「アドプラのLINE WORKS通知」が表示されたら、次へ進みます。

STEP 3

プラグインをアプリへ追加する

必要な権限　対象アプリの管理者

作業場所　kintoneの対象アプリ

アプリ設定を開く

1. 通知を設定するアプリを開きます。
2. レコード一覧画面右上の歯車アイコンを押します。
3. 「設定」タブを押します。
4. 「カスタマイズ／サービス連携」の「プラグイン」を押します。

プラグインを追加する

5. 「追加する」を押します。
6. 「アドプラのLINE WORKS通知」にチェックを入れます。
7. 画面右下の「追加」を押します。
8. プラグイン一覧に「アドプラのLINE WORKS通知」が表示されたことを確認します。

注意　ここでは「アプリを更新」を押しません。APIトークンを設定した後にまとめて更新します。

対象アプリのプラグイン一覧に「アドプラのLINE WORKS通知」が表示されたら、次へ進みます。

STEP 4

Client Appを作成する

作業場所　LINE WORKS Developer Console

Developer Consoleを開く

https://dev.worksmobile.com/

1 LINE WORKS Developer Consoleを開きます。

2 Developer Consoleを操作できるLINE WORKSアカウントでログインします。

Client Appを作成する

API ＞ Client App ＞ アプリの新規追加

3 「API」メニューを開き、「Client App」を押します。

4 「アプリの新規追加」を押します。

5 任意のアプリ名を入力します。（例：アドプラLINEWORKS通知）

6 「同意して利用する」を押します。

7 「アプリ情報」画面が表示されたことを確認します。

⚠ 「アプリの種類」は、初期選択されている「認証アプリ」のまま変更しません。

✔ 「アプリ情報」画面が表示されたら、次へ進みます。

STEP 5

アプリ情報を設定する

作業場所　LINE WORKS Developer Consoleの「アプリ情報」画面

1. 「アプリの説明」に任意の説明を入力します。（例：kintoneの更新をLINE WORKSへ通知）
2. 「OAuth Scopes」の「管理」を押します。
3. 一覧で「bot」だけにチェックを入れます。
4. 「OAuth Scope の選択」画面下部の「保存」を押します。
5. 「アプリ情報」画面下部の「保存」を押します。
6. Client Appの詳細画面が表示されたことを確認します。

⚠ 「アプリのアクセス権限」「トークン設定」「Redirect URL」は変更しません。

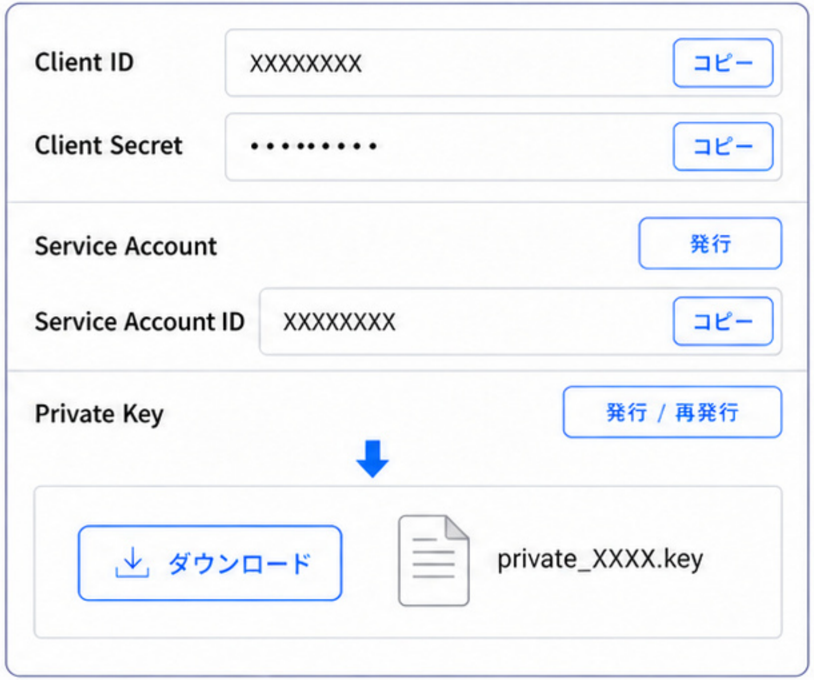
✔ **Client Appの詳細画面が表示されたら、次へ進みます。**

STEP 6

LINE WORKSの接続情報を準備する

作業場所　LINE WORKS Developer Consoleの Client App詳細画面

1. 「Client ID」と「Client Secret」を、それぞれ「コピー」で安全な場所へ控えます。
2. 「Service Account」の「発行」を押します。
3. 表示された「Service Account ID」を「コピー」で安全な場所へ控えます。
4. 「Private Key」の「発行 / 再発行」を押します。
5. 表示された画面の「ダウンロード」を押します。
6. ダウンロードした「.key」ファイルを安全な場所へ保存します。



⚠ Private Keyはダウンロードしたファイルのまま使用します。ファイルの中身を開いたり、チャットなどに送ったりしないでください。

✔ 4つの接続情報を準備できたら、次へ進みます。

STEP 7

通知Botを作成する

作業場所　LINE WORKS Developer Console

必ず確認する3つの設定

- Callback URL：OFF
- 複数人のトークルームに招待可：有効
- 主担当：自分

1. Developer Consoleの左メニューで「Bot」を押します。
2. 「登録」を押します。
3. Bot名に任意の名前を入力します。（例：通知Bot）
4. Botの説明に、用途が分かる説明を入力します。（例：kintoneの更新を通知するBot）
5. 「Callback URL」がOFFになっていることを確認します。
6. 「トークルームへの招待」の「複数人のトークルームに招待可」を有効にします。
7. 「主担当」で、現在この設定を行っている自分のLINE WORKSアカウントを選びます。
8. 「保存」を押します。
9. 作成したBotを開きます。
10. 「Bot ID」を安全な場所へ控えます。　Bot ID：XXXXXXX

プロフィール画像と「副担当」は設定しなくても利用できます。「主担当」は必須です。
このプラグインは通知の送信だけを行うため、Callback URLは使用しません。

Bot IDを確認できたら、次へ進みます。

STEP 8

Botを利用可能にする

作業場所　LINE WORKS管理者画面

LINE WORKS Developer Console → **LINE WORKS管理者画面**

https://admin.worksmobile.com/

管理者画面へアクセス

1. LINE WORKS管理者画面を開きます。
2. LINE WORKS管理者の
アカウントでログインします。

Bot 一覧を開く

3. 左メニューの「サービス」を押します。
4. 「Bot」を押します。
5. 「Bot追加」を押します。

サービス ＞ Bot ＞ Bot追加

Botを追加・確認

6. PAGE 9で作成したBotを選びます。
通知Bot
7. 「Bot追加」を押します。
8. Bot一覧に追加したBotが
表示されたことを確認します。

Bot一覧に追加したBotが表示されたら、次へ進みます。

STEP 9

Botをグループへ追加する

作業場所　LINE WORKSのトーク

使っている環境の手順で招待画面を開く

ブラウザ版

1. https://talk.worksmobile.com/ を開きます。
2. 通知先にするグループを開きます。
3. 右上のメニューアイコンを押します。
4. 「Bot招待」を押します。

Bot招待

モバイル版アプリ

1. 「トーク」から通知先にするグループを開きます。
2. 右上のメニューアイコンを押します。
3. 「招待」を押します。

招待

PC版アプリ

1. 通知先にするグループを開きます。
2. 右上のメニューアイコンを押します。
3. 「Bot招待」を押します。

Bot招待

Botを選ぶ

1. 表示された一覧から、PAGE 9で作成したBotを選びます。
2. ブラウザ版とモバイル版アプリは「OK」、PC版アプリは「招待する」を押します。
3. グループにBotが参加したことを確認します。

ブラウザ・モバイル：OK　　PC：招待する

チャンネルIDを確認する

1. グループ画面右上のメニューアイコンを押します。
2. メニューにある「チャンネルID」を押します。
3. 表示されたチャンネルIDをコピーします。
4. コピーしたチャンネルIDを安全な場所へ控えます。

チャンネルID　XXXXXXXX

グループにBotが参加し、チャンネルIDをコピーできたら、次へ進みます。

STEP 10

kintone APIトークンを作成する

作業場所　kintoneの対象アプリ

操作手順

画面を開く

1. 通知を設定するアプリを開きます。
2. レコード一覧画面右上の歯車アイコンを押します。
3. 「設定」タブを押します。
4. 「カスタマイズ／サービス連携」の「APIトークン」を押します。

生成・コピー

5. 「生成する」を押します。
6. 「レコード閲覧」にチェックを入れます。
7. 「レコード追加」「レコード編集」「レコード削除」「アプリ管理」にチェックが入っていないことを確認します。
8. 生成されたAPIトークンをコピーします。

保存・反映

9. 画面右下の「保存」を押します。
10. 画面右上の「アプリを更新」を押します。
11. 確認画面の「アプリを更新」を押します。

開く場所

対象アプリ ↓ 設定 ↓ APIトークン

権限は1つだけ

- [x] レコード閲覧
- [ ] レコード追加
- [ ] レコード編集
- [ ] レコード削除
- [ ] アプリ管理

! 必要な権限は「レコード閲覧」だけです。「アプリ管理」も選びません。

APIトークン　XXXXXXXX　コピー

最後に反映

保存 → アプリを更新 → アプリを更新

✓ APIトークンをコピーし、アプリを更新できたら、次へ進みます。

STEP 11

接続情報をプラグインへ入力する

作業場所　kintoneの対象アプリ

設定画面を開く

1. 通知を設定するアプリを開きます。
2. 右上の歯車アイコンを押します。
3. 「設定」タブを押します。
4. 「カスタマイズ／サービス連携」の「プラグイン」を押します。
5. 「アドプラのLINE WORKS通知」の歯車アイコンを押します。
6. 「接続設定」タブを確認します。
7. 「LINE WORKS通知をはじめる」が選ばれていることを確認します。

対象アプリ ＞ 設定 ＞ プラグイン

接続情報を入力する

LINE WORKS Bot ID	XXXXXXXX
Client ID	XXXXXXXX
Client Secret	XXXXXXXX
Service Account ID	XXXXXXXX
Private Key	[ファイル選択]
kintone APIトークン	XXXXXXXX

1. Bot IDはPAGE 9、ほかの接続情報はPAGE 8の値を入力します。
2. 「ファイル選択」を押し、PAGE 8の.keyファイルを選んで「開く」を押します。
3. PAGE 12のkintone APIトークンを入力します。

接続してURLをコピー

4. 「接続を確認して開始」を押します。
5. 「接続できました」と表示されるまで待ちます。
6. Webhook URLが表示されたことを確認します。
7. 「https://以降をコピー」を押します。

接続できました

Webhook URL

https://XXXXXXXX

https://以降をコピー

「接続できました」とWebhook URLが表示され、URLをコピーできたら、続けてWebhookを登録します。

STEP 12

kintone Webhookを登録する

作業場所　kintoneの対象アプリ

操作手順

画面を開く

1. 通知を設定するkintoneアプリを開きます。
2. 右上の歯車アイコンを押します。
3. 「設定」タブを押します。
4. 「カスタマイズ／サービス連携」の「Webhook」を押します。
5. 「追加する」を押します。

内容を入力

6. 「Webhookの説明」に「LINE WORKS通知」と入力します。
7. URLのhttps://より後ろに、PAGE 13でコピーした値を貼り付けます。

チェックして保存

8. 「レコードの追加」にチェックを入れます。
9. ほか4つの通知条件はチェックしません。
10. 「このWebhookを有効にする」にチェックが入っていることを確認します。
11. 画面右下の「保存」を押します。
12. 「アプリの設定に戻る」を押します。

開く場所

対象アプリ ＞ 設定 ＞ Webhook ＞ 追加する

この状態にします

Webhookの説明	LINE WORKS通知
Webhook URL	https://XXXXXXX

- [x] レコードの追加
- [ ] レコードの編集
- [ ] レコードの削除
- [ ] コメントの書き込み
- [ ] ステータスの更新
- [x] このWebhookを有効にする

チェックするのは2つだけです。

- レコードの追加
- このWebhookを有効にする

編集とステータス変更は、プラグインが別の経路で処理します。

ここではまだ「アプリを更新」を押しません。

Webhookを保存して「アプリの設定」に戻ったら、次へ進みます。

STEP 13

通知フローを作成する

作業場所　kintoneのプラグイン設定画面

操作手順

条件通知を開く

1. 「カスタマイズ/サービス連携」の「プラグイン」を押します。
2. 「アドプラのLINE WORKS通知」の歯車アイコンを押します。
3. 「条件通知」タブを押します。

フローを設定する

1. 「＋ 新しいフローを追加」を押します。
2. 表示されたフロー名を押します。
3. 任意のフロー名を入力します。（例：テスト通知）
4. フロー右上の「有効」がオンになっていることを確認します。
5. 「通知する操作」で、通知したい操作にチェックを入れます。
6. 「通知の条件」で「すべてのレコード」を選びます。

プラグイン ＞ アドプラのLINE WORKS通知 ＞ 条件通知

基本設定

- フロー名：テスト通知
- 有効：ON
- 通知する操作：☐ レコード追加　☐ レコード編集　☐ ステータス変更
- 通知の条件：◉ すべてのレコード　○ 条件を指定

基本は「すべてのレコード」を選びます。

通知する操作の意味

レコード追加 ： 新しいレコードを保存したとき
レコード編集 ： 既存のレコードを編集して保存したとき
ステータス変更 ： プロセス管理のステータスを変更したとき

条件を付けたい場合　任意設定

「条件を指定」を選び、次の順に設定します。

1. フィールド
2. 比較方法
3. 条件値

✔ 通知する操作と通知条件を設定できたら、次へ進みます。

STEP 14

通知先と本文を設定する

作業場所　kintoneのプラグイン設定画面

操作手順

通知先と本文を入力

1. 「＋ チャンネル」を押します。
2. 「チャンネル ID」に、PAGE 11でコピーしたチャンネルIDを入力します。
3. 「通知内容」の本文に、通知したい文章を入力します。

保存してアプリを更新

4. 画面下部の「設定を保存」を押します。
5. 「プラグイン設定を保存しました」と表示されたことを確認します。
6. 「プラグイン一覧へ移動」を押します。
7. 画面右上の「アプリを更新」を押します。
8. 確認画面の「アプリを更新」を押します。

通知本文の記入例

```
kintoneにレコードが追加されました。
{{_recordUrl}}
```

{{_recordUrl}}を入力した位置には、
通知時にkintoneレコードのURLが表示されます。

保存後の進み方

設定を保存 → 保存完了を確認 → プラグイン一覧へ移動 → アプリを更新 → アプリを更新

! WebhookはPAGE 14で登録済みです。
「Webhook設定へ進む」は押しません。

✔ 通知先と本文を保存し、アプリを更新できたら次へ進みます。

STEP 15

テスト通知を確認する

操作手順

作業場所　kintoneの対象アプリ

1. 通知を設定したkintoneアプリを開きます。
2. 条件を設定した場合は、通知条件に合うレコードまたは入力値を用意します。
3. PAGE 15で選んだ項目に合わせて、テストする操作を1回行います。

↓ LINE WORKSへ移動

作業場所　LINE WORKSのトーク

4. ブラウザ版は talk.worksmobile.com、アプリ版はLINE WORKSアプリの「トーク」を開きます。
5. 通知先に設定したグループを開きます。
6. PAGE 9で設定したBotから通知が1件届いたことを確認します。

選んだ操作を1つだけ実行

いずれか1つ

- ◯ **レコード追加：** レコード追加ボタンを押し、必要な項目を入力して保存します。
- ◯ **レコード編集：** 既存のレコードを開き、編集ボタンを押して内容を変更し、保存します。
- ◯ **ステータス変更：** 既存のレコードを開き、プロセス管理のステータスを変更します。

通知を確認

Bot	通知が1件届きました

設定は完了です。 通知条件は、プラグイン設定画面の「条件通知」から後で変更できます。